

国語科学習指導案(本時案) 5 学年

単元名『もゆゆみみあをしょうかいしよう』

1 本時の位置 (全○時間扱い中の第○時)

前時： をした。

次時： をする。

2 本時の主眼

表現をしたいという思いはあるが適切な文章表現が苦手な子どもたちが、伝わりやすい文章とはどのようなものかを考える場面で、句読点やかぎ、段落に着目して、文章を直したり、考えたことを互いに伝え合ったりすることを通して、よりよい文章表現に直すことができる。

3 指導上の留意点

・個人で考えることができるようにワークシートを人数分用意する。

4 本時の展開

平成 30 年 6 月 28 日(木) 第 2 校時
授業会場 3 年東組教室
3 年東組 男子 18 名 女子 18 名 計 36 名
指導教官
授業者

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 もゆゆみみあ紹介の文章を読む。	・読みにくいね。 ・ここに“。”がなきゃおかしいよ。 ・この文章自体がおかしいんじゃないかな。 ・“,”はどこで入れたらいいのかな。	7	○子どもがもゆゆみみあ紹介を読むことができるように、教師が書画カメラで文章を映し出す。 「どうすれば文章が伝わりやすくなるかな。」
	2 どのように書き換えれば分かりやすくなりそうかの見通しを立てる。	・“,”や“。”をつければもっと分かりやすくなりそうだね。 ・段落を変えたほうがいいのかもしい。 ・もゆゆみみあには「」をつけたほうがいいと思う。		○子どもが考える見通しが立ちやすくなるように、教師が子どもたちの発言を「かぎ」として黒板に書く。
	学習問題 伝わりやすい文章を書くためにはどうしたらよいのか考えよう。			
展開	3 個人・グループで考える。	・もっと分かりやすくないかな。 ・○○さんの考えはいいね。これを採用しよう。	1 2	「どうしてそう考えたのかな。どんな理由があるのかな。」 ○子どもが時間の見通しをもって追究できるように、教師が追究時間を示して考える場を設ける。 ○子どもが班でまとめた意見を記録
	学習課題 “,” や “。” などの符号をつけたり、段落を変えたりすればよさそうだ。			

開 末	3 各グループで出た案について全体共有をする。	・確かにその符号があるとわかりやすいかも。 ・ここに“,”があると、逆に分かりにくくなっちゃうんじゃないかな。 ・私たちの班と一緒にだ。 ・私たちの班の方がより分かりやすくなったと思う。	16	○子どもが班の意見を全体に共有できるように、各班で出した意見や一致した意見をまとめて黒板（書画カメラで映したもの）に書き込む。
	5 本時の追究を振り返る。	・みんな大体同じところに“.”をつけたね。 ・文章が長くなる時は“,”を途中で入れると読みやすいね。 ・今度日記を書く時に注意してみよう。	10	○子どもが本時で考えたことを振り返ることができるように、教師が子どもの発言を黒板にまとめる。